

平成 29 年度 病院事業決算状況

都道府県名 福岡県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	精神医療センター太宰府病院	2
北九州市	門司病院	3
北九州市	医療センター	4
北九州市	八幡病院	5
福岡市	福岡市立こども病院	6
福岡市	福岡市民病院	7
大牟田市	総合病院	8
飯塚市	飯塚市立病院	9
田川市	市立病院	10
筑後市	市立病院	11
中間市	市立病院	12
芦屋町	芦屋中央病院	13
小竹町	小竹町立病院	14
鞍手町	地方独立行政法人くらて病院	15
糸田町	緑ヶ丘病院	16
川崎町	町立病院	17
公立八女総合病院企業団	公立八女総合病院	18
公立八女総合病院企業団	みどりの杜病院	19

病院事業決算状況 (29年度)				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	
				病院名	精神医療センター太宰府病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,831 m ²	指定病院の状況	臨		
診療科数	5	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	300	82.8	84.8	84.9
感染症	-	-	-	-
計	300	82.8	84.8	84.9
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,101,556	
決算規模(千円)	1,613,717,067	
標準財政規模(千円)	916,593,742	
財政力指数	0.64281	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	257.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.4
修正医業収支金額(千円)	2,118,143

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,697,927			
1 経常収益	2,568,533			
(1) 医業収益	2,119,348			
入院収益	1,772,885			
外来収益	325,083			
診療収入計	2,097,968			
その他医業収益	21,380			
(うち他会計負担金)	1,205			
(2) 医業外収益	449,185			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	339,757			
(うち長期前受金戻入)	108,363			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	129,394			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,473,919			
2 経常費用	2,471,264			
(1) 医業費用	2,369,822			
職員給与費	12,290	0.6	55.9	94.3
材料費	-	-	24.0	8.8
(うち薬品費)	-	-	12.4	6.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	1.1
減価償却費	180,799	8.5	9.2	12.6
経費	2,176,107	102.7	23.2	33.3
(うち委託料)	19,316	0.9	11.2	16.0
研究研修費	-			
資産減耗費	626			
(2) 医業外費用	101,442			
(うち支払利息)	94,349	4.5	1.7	3.4
(3) 特別損失	2,655			
損益				
経常損益	97,269			
純損益	224,008			
累積欠損金	2,000,511			
経常収支比率	103.9		98.0	100.2
医業収支比率	89.4		88.4	66.8
他会計繰入金対経常収益比率	13.3		12.4	33.7
他会計繰入金対医業収益比率	16.1		14.5	52.8
他会計繰入金対総収益比率	12.6		12.4	33.4
実質収益対経常費用比率	90.1		85.9	66.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,759,493
1 固定資産	3,545,550
(1) 有形固定資産	3,544,705
(2) 無形固定資産	845
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,213,943
(1) 現金及び預金	640,339
(2) 未収金及び未収収益	615,314
(3) 貸倒引当金()	42,710
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,644,468
1 固定負債	4,039,018
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,018,786
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,232
(7) リース債務	-
2 流動負債	369,146
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	338,364
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,456
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	27,211
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	236,304
(1) 長期前受金	1,595,506
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,359,202
資本合計	115,025
1 資本金	1,198,746
2 剰余金	-1,083,721
(1) 資本金剰余金	916,790
(2) 利益剰余金	-2,000,511
負債・資本合計	4,759,493
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	340,962	340,962
資本勘定繰入	221,011	221,011
計	561,973	561,973

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	94.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	北九州市
	病院名	門司病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,196 m ²	指定病院の状況	
診療科数	14	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	50	84.1	87.2	87.6
療養	50	93.1	90.9	89.2
結核	55	55.9	46.3	53.2
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	155	77.0	73.9	75.9
平均在院日数(一般病床のみ)		24.0	24.8	24.1

設立団体の状況		
人口(人)	961,286	
決算規模(千円)	551,960,914	
標準財政規模(千円)	279,711,958	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.2
	将来負担比率(%)	175.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.7
修正医業収支金額(千円)	2,275

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	259,693			
1 経常収益	259,693			
(1) 医業収益	2,275			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	2,275			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	257,418			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	227,393			
(うち長期前受金戻入)	1,737			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	383,485			
2 経常費用	383,485			
(1) 医業費用	313,250			
職員給与費	-	-	55.9	59.8
材料費	-	-	24.0	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.0
減価償却費	133,753	5879.3	9.2	10.4
経費	179,196	7876.7	23.2	31.2
(うち委託料)	788	34.6	11.2	12.8
研究研修費	-			
資産減耗費	301			
(2) 医業外費用	70,235			
(うち支払利息)	56,090	2465.5	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-123,792			
純損益	-123,792			
累積欠損金	16,227,090			
経常収支比率	67.7		98.0	96.3
医業収支比率	0.7		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	87.6		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	9995.3		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	87.6		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	8.4		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,062,810
1 固定資産	15,661,031
(1) 有形固定資産	15,388,092
(2) 無形固定資産	4,516
(3) 投資その他の資産	268,423
2 流動資産	7,401,779
(1) 現金及び預金	2,971,621
(2) 未収金及び未収収益	4,363,116
(3) 貸倒引当金()	27,443
(4) 貯蔵品	93,047
3 繰延資産	-
負債合計	23,894,176
1 固定負債	15,330,224
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,173,686
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	200,000
(6) 引当金	956,538
(7) リース債務	-
2 流動負債	7,386,579
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,272,935
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	791,870
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,283,468
(9) 前受金及び前受収益	157
3 繰延収益	1,177,373
(1) 長期前受金	1,751,939
(2) 長期前受金収益化累計額()	574,566
資本合計	-831,366
1 資本金	35,357,936
2 剰余金	-36,189,302
(1) 資本金剰余金	153,592
(2) 利益剰余金	-36,342,894
負債・資本合計	23,062,810
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	831,366
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	227,393	227,393
資本勘定繰入	124,290	124,290
計	351,683	351,683

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	165.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	北九州市
	病院名	医療センター

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	37,416 m ²	指定病院の状況	臨が感災地輪
診療科数	25	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	620	71.3	72.0	71.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	16	0.1	-	-
計	636	69.5	70.2	69.9
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	14.5	14.6

設立団体の状況		
人口(人)	961,286	
決算規模(千円)	551,960,914	
標準財政規模(千円)	279,711,958	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.2
	将来負担比率(%)	175.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.4
修正医業収支金額(千円)	14,841,449

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,084,873			
1 経常収益	15,977,551			
(1) 医業収益	14,841,449			
入院収益	9,538,628			
外来収益	5,023,259			
診療収入計	14,561,887			
その他医業収益	279,562			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,136,102			
(うち国・都道府県補助金)	33,040			
(うち他会計補助・負担金)	893,284			
(うち長期前受金戻入)	12,706			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	107,322			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,833,934			
2 経常費用	16,674,365			
(1) 医業費用	15,881,968			
職員給与費	7,636,711	51.5	55.9	50.2
材料費	4,466,104	30.1	24.0	27.7
(うち薬品費)	3,017,206	20.3	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,446,447	9.7	11.1	12.9
減価償却費	950,909	6.4	9.2	8.3
経費	2,714,609	18.3	23.2	20.7
(うち委託料)	1,094,604	7.4	11.2	11.4
研究研修費	63,289			
資産減耗費	50,346			
(2) 医業外費用	792,397			
(うち支払利息)	105,852	0.7	1.7	1.5
(3) 特別損失	159,569			
損益				
経常損益	-696,814			
純損益	-749,061			
累積欠損金	13,885,946			
経常収支比率	95.8		98.0	99.7
医業収支比率	93.4		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	5.6		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	6.0		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	5.6		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	90.5		85.9	90.3

備考:
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,062,810
1 固定資産	15,661,031
(1) 有形固定資産	15,388,092
(2) 無形固定資産	4,516
(3) 投資その他の資産	268,423
2 流動資産	7,401,779
(1) 現金及び預金	2,971,621
(2) 未収金及び未収収益	4,363,116
(3) 貸倒引当金()	27,443
(4) 貯蔵品	93,047
3 繰延資産	-
負債合計	23,894,176
1 固定負債	15,330,224
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,173,686
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	200,000
(6) 引当金	956,538
(7) リース債務	-
2 流動負債	7,386,579
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,272,935
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	791,870
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,283,468
(9) 前受金及び前受収益	157
3 繰延収益	1,177,373
(1) 長期前受金	1,751,939
(2) 長期前受金収益化累計額()	574,566
資本合計	-831,366
1 資本金	35,357,936
2 剰余金	-36,189,302
(1) 資本金剰余金	153,592
(2) 利益剰余金	-36,342,894
負債・資本合計	23,062,810
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	831,366
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	893,284	893,284
資本勘定繰入	751,437	751,437
計	1,644,721	1,644,721

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	165.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	北九州市
				病院名	八幡病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,503 m ²	指定病院の状況	救臨 災		
診療科数	19	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	439	52.6	54.2	54.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	439	52.6	54.2	54.2
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	10.2	10.6

設立団体の状況		
人口(人)	961,286	
決算規模(千円)	551,960,914	
標準財政規模(千円)	279,711,958	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.2
	将来負担比率(%)	175.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.0
修正医業収支金額(千円)	5,704,670

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,410,820			
1 経常収益	7,350,391			
(1) 医業収益	7,123,161			
入院収益	4,335,203			
外来収益	1,261,489			
診療収入計	5,596,692			
その他医業収益	1,526,469			
(うち他会計負担金)	1,418,491			
(2) 医業外収益	227,230			
(うち国・都道府県補助金)	2,331			
(うち他会計補助・負担金)	172,584			
(うち長期前受金戻入)	1,852			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	60,429			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,446,341			
2 経常費用	7,395,952			
(1) 医業費用	7,220,766			
職員給与費	4,317,068	60.6	55.9	55.2
材料費	895,011	12.6	24.0	25.7
(うち薬品費)	343,228	4.8	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	550,204	7.7	11.1	12.3
減価償却費	382,987	5.4	9.2	8.5
経費	1,591,438	22.3	23.2	19.0
(うち委託料)	666,477	9.4	11.2	9.1
研究研修費	27,561			
資産減耗費	6,701			
(2) 医業外費用	175,186			
(うち支払利息)	22,037	0.3	1.7	1.6
(3) 特別損失	50,389			
損益				
経常損益	-45,561			
純損益	-35,521			
累積欠損金	6,229,858			
経常収支比率	99.4		98.0	98.4
医業収支比率	98.6		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	21.6		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	22.3		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	21.5		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	77.9		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,062,810
1 固定資産	15,661,031
(1) 有形固定資産	15,388,092
(2) 無形固定資産	4,516
(3) 投資その他の資産	268,423
2 流動資産	7,401,779
(1) 現金及び預金	2,971,621
(2) 未収金及び未収収益	4,363,116
(3) 貸倒引当金()	27,443
(4) 貯蔵品	93,047
3 繰延資産	-
負債合計	23,894,176
1 固定負債	15,330,224
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,173,686
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	200,000
(6) 引当金	956,538
(7) リース債務	-
2 流動負債	7,386,579
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,272,935
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	791,870
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,283,468
(9) 前受金及び前受収益	157
3 繰延収益	1,177,373
(1) 長期前受金	1,751,939
(2) 長期前受金収益化累計額()	574,566
資本合計	-831,366
1 資本金	35,357,936
2 剰余金	-36,189,302
(1) 資本金剰余金	153,592
(2) 利益剰余金	-36,342,894
負債・資本合計	23,062,810
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	831,366
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,591,075	1,591,075
資本勘定繰入	217,529	217,529
計	1,808,604	1,808,604

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	165.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29 年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	福岡市
		病院名	福岡市立こども病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	1,538,681	
決算規模（千円）	854,727,042	
標準財政規模（千円）	414,380,729	
財政力指数	0.89	
経常収支比率（%）	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.7
	将来負担比率（%）	135.5

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	77,680			
1 経常収益	77,680			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	77,680			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	77,680			
2 経常費用	77,680			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	59.2
材料費	-	-	24.0	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	-	-	9.2	10.4
経費	-	-	23.2	27.3
(うち委託料)	-	-	11.2	11.8
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	77,680			
(うち支払利息)	77,680	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	96.1
医業収支比率	-		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	福岡市
	病院名	福岡市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,538,681	
決算規模(千円)	854,727,042	
標準財政規模(千円)	414,380,729	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	135.5

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	37,197			
1 経常収益	37,197			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	37,197			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	37,197			
2 経常費用	37,197			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	59.2
材料費	-	-	24.0	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	-	-	9.2	10.4
経費	-	-	23.2	27.3
(うち委託料)	-	-	11.2	11.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	37,197			
(うち支払利息)	37,197	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	96.1
医業収支比率	-		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	83.2

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考:
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29 年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	大牟田市
		病院名	総合病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	117,360	
決算規模（千円）	54,843,043	
標準財政規模（千円）	27,716,530	
財政力指数	0.51	
経常収支比率（%）	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.1
	将来負担比率（%）	58.4

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	179,785			
1 経常収益	179,785			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	179,785			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	179,785			
2 経常費用	179,785			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	56.9
材料費	-	-	24.0	24.2
(うち薬品費)	-	-	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	11.7
減価償却費	-	-	9.2	9.5
経費	-	-	23.2	21.8
(うち委託料)	-	-	11.2	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	179,785			
(うち支払利息)	179,785	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	96.3
医業収支比率	-		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	85.4

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	飯塚市
	病院名	飯塚市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,341 m ²	指定病院の状況	救臨へ輪
診療科数	15	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	250	77.1	76.4	76.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	77.1	76.4	76.8
平均在院日数(一般病床のみ)		22.3	21.3	20.9

設立団体の状況		
人口(人)	129,146	
決算規模(千円)	65,647,378	
標準財政規模(千円)	32,895,189	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.2
	将来負担比率(%)	27.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	399,608			
1 経常収益	399,608			
(1) 医業収益	226,741			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	226,741			
(うち他会計負担金)	226,741			
(2) 医業外収益	172,867			
(うち国・都道府県補助金)	6,378			
(うち他会計補助・負担金)	19,462			
(うち長期前受金戻入)	112,747			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	568,636			
2 経常費用	567,996			
(1) 医業費用	509,074			
職員給与費	-	-	55.9	59.2
材料費	-	-	24.0	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	278,791	123.0	9.2	10.4
経費	226,741	100.0	23.2	27.3
(うち委託料)	-	-	11.2	11.8
研究研修費	-			
資産減耗費	3,542			
(2) 医業外費用	58,922			
(うち支払利息)	30,492	13.4	1.7	1.8
(3) 特別損失	640			
損益				
経常損益	-168,388			
純損益	-169,028			
累積欠損金	528,812			
経常収支比率	70.4		98.0	96.1
医業収支比率	44.5		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	61.6		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	108.6		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	61.6		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	27.0		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,464,370
1 固定資産	4,456,833
(1) 有形固定資産	4,456,583
(2) 無形固定資産	250
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	7,537
(1) 現金及び預金	4,115
(2) 未収金及び未収収益	3,422
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,521,242
1 固定負債	3,384,257
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,384,257
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	91,971
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	89,333
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	783
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,855
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	45,014
(1) 長期前受金	459,249
(2) 長期前受金収益化累計額()	414,235
資本合計	943,128
1 資本金	1,324,079
2 剰余金	-380,951
(1) 資本金剰余金	147,861
(2) 利益剰余金	-528,812
負債・資本合計	4,464,370
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	233,575	246,203
資本勘定繰入	29,623	29,623
計	263,198	275,826

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	233.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	田川市
	病院名	市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,810 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 輪
診療科数	25	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	334	62.7	64.3	60.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	-	-	-
計	342	61.2	62.8	58.7
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	13.6	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	48,441	
決算規模(千円)	27,758,918	
標準財政規模(千円)	13,192,288	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	96.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.8
修正医業収支金額(千円)	5,190,504

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,191,597			
1 経常収益	5,919,938			
(1) 医業収益	5,297,858			
入院収益	3,497,628			
外来収益	1,561,813			
診療収入計	5,059,441			
その他医業収益	238,417			
(うち他会計負担金)	107,354			
(2) 医業外収益	622,080			
(うち国・都道府県補助金)	10,430			
(うち他会計補助・負担金)	363,234			
(うち長期前受金戻入)	221,589			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	271,659			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,875,506			
2 経常費用	5,860,359			
(1) 医業費用	5,592,653			
職員給与費	2,953,537	55.7	55.9	56.9
材料費	993,081	18.7	24.0	24.2
(うち薬品費)	366,918	6.9	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	626,163	11.8	11.1	11.7
減価償却費	350,708	6.6	9.2	9.5
経費	1,264,417	23.9	23.2	21.8
(うち委託料)	693,435	13.1	11.2	10.7
研究研修費	25,550			
資産減耗費	5,360			
(2) 医業外費用	267,706			
(うち支払利息)	100,247	1.9	1.7	1.8
(3) 特別損失	15,147			
損益				
経常損益	59,579			
純損益	316,091			
累積欠損金	1,042,319			
経常収支比率	101.0		98.0	96.3
医業収支比率	94.7		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	7.9		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	8.9		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	7.6		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	93.0		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,096,611
1 固定資産	5,462,454
(1) 有形固定資産	5,462,454
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,634,157
(1) 現金及び預金	615,659
(2) 未収金及び未収収益	1,012,944
(3) 貸倒引当金()	21,833
(4) 貯蔵品	26,317
3 繰延資産	-
負債合計	7,872,562
1 固定負債	6,538,868
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,541,875
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	996,993
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,255,514
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	673,510
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	173,748
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	388,326
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	78,180
(1) 長期前受金	6,521,329
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,443,149
資本合計	-775,951
1 資本金	248,911
2 剰余金	-1,024,862
(1) 資本剰余金	17,457
(2) 利益剰余金	-1,042,319
負債・資本合計	7,096,611
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	775,951
資本不足額(繰延収益控除後)()	697,771
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	470,588	470,588
資本勘定繰入	421,965	421,965
計	892,553	892,553

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	19.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29 年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	筑後市
		病院名	市立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	48,339	
決算規模(千円)	18,394,258	
標準財政規模(千円)	10,374,039	
財政力指数	0.65	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	40.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	60,138			
1 経常収益	60,138			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	60,138			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	60,138			
2 経常費用	60,138			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	59.2
材料費	-	-	24.0	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	-	-	9.2	10.4
経費	-	-	23.2	27.3
(うち委託料)	-	-	11.2	11.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	60,138			
(うち支払利息)	60,138	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	96.1
医業収支比率	-		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	83.2

備考：「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29 年度)				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	中間市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	6,302 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	122	52.7	51.3	52.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	122	52.7	51.3	52.4
平均在院日数（一般病床のみ）		21.3	22.4	19.4

設立団体の状況		
人口（人）	41,796	
決算規模（千円）	17,610,714	
標準財政規模（千円）	9,577,551	
財政力指数	0.44	
経常収支比率（%）	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	14.6
	将来負担比率（%）	70.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	93.1
修正医業収支金額（千円）	1,796,117

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,023,572			
1 経常収益	2,013,486			
(1) 医業収益	1,844,441			
入院収益	733,297			
外来収益	1,005,137			
診療収入計	1,738,434			
その他医業収益	106,007			
(うち他会計負担金)	48,324			
(2) 医業外収益	169,045			
(うち国・都道府県補助金)	10,683			
(うち他会計補助・負担金)	95,515			
(うち長期前受金戻入)	54,712			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,086			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,016,577			
2 経常費用	2,004,784			
(1) 医業費用	1,928,617			
職員給与費	1,025,600	55.6	55.9	59.8
材料費	537,246	29.1	24.0	17.7
(うち薬品費)	461,033	25.0	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	58,815	3.2	11.1	8.0
減価償却費	71,331	3.9	9.2	10.4
経費	288,987	15.7	23.2	31.2
(うち委託料)	112,800	6.1	11.2	12.8
研究研修費	3,476			
資産減耗費	1,977			
(2) 医業外費用	76,167			
(うち支払利息)	13,121	0.7	1.7	1.8
(3) 特別損失	11,793			
損益				
経常損益	8,702			
純損益	6,995			
累積欠損金	277,135			
経常収支比率	100.4		98.0	96.3
医業収支比率	95.6		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	7.1		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	7.8		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	7.1		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	93.3		85.9	81.0

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	927,596
1 固定資産	586,939
(1) 有形固定資産	586,248
(2) 無形固定資産	691
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	340,657
(1) 現金及び預金	1,932
(2) 未収金及び未収収益	325,213
(3) 貸倒引当金（ ）	338
(4) 貯蔵品	13,250
3 繰延資産	-
負債合計	1,025,849
1 固定負債	433,503
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	421,949
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,554
(7) リース債務	-
2 流動負債	388,653
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	78,624
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	52,826
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	112,857
(8) 未払金及び未払費用	141,167
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	203,693
(1) 長期前受金	1,650,690
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,446,997
資本合計	-98,253
1 資本金	94,571
2 剰余金	-192,824
(1) 資本剰余金	82,811
(2) 利益剰余金	-275,635
負債・資本合計	927,596
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	98,253
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	143,839	143,839
資本勘定繰入	46,341	46,341
計	190,180	190,180

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	15.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	芦屋町
		病院名	芦屋中央病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	14,208	
決算規模(千円)	11,041,264	
標準財政規模(千円)	3,673,989	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	97.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,566			
1 経常収益	4,566			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	4,566			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,566			
2 経常費用	4,566			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	59.8
材料費	-	-	24.0	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.0
減価償却費	-	-	9.2	10.4
経費	-	-	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.2	12.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	4,566			
(うち支払利息)	4,566	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	96.3
医業収支比率	-		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	小竹町
	病院名	小竹町立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,759 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	4	看護配置	13:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	56	64.7	61.5	58.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	64.7	61.5	58.5
平均在院日数(一般病床のみ)		24.5	35.7	58.5

設立団体の状況		
人口(人)	7,810	
決算規模(千円)	4,407,825	
標準財政規模(千円)	2,692,127	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	95.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	77.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.1
修正医業収支金額(千円)	426,072

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	546,838			
1 経常収益	546,049			
(1) 医業収益	486,796			
入院収益	269,457			
外来収益	141,549			
診療収入計	411,006			
その他医業収益	75,790			
(うち他会計負担金)	60,724			
(2) 医業外収益	59,253			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	41,152			
(うち長期前受金戻入)	13,847			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	789			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	551,062			
2 経常費用	549,961			
(1) 医業費用	538,748			
職員給与費	389,001	79.9	55.9	69.4
材料費	47,310	9.7	24.0	17.1
(うち薬品費)	13,143	2.7	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,666	5.3	11.1	5.8
減価償却費	22,123	4.5	9.2	11.6
経費	79,055	16.2	23.2	31.2
(うち委託料)	29,527	6.1	11.2	12.1
研究研修費	1,051			
資産減耗費	208			
(2) 医業外費用	11,213			
(うち支払利息)	1,643	0.3	1.7	2.1
(3) 特別損失	1,101			
損益				
経常損益	-3,912			
純損益	-4,224			
累積欠損金	202,147			
経常収支比率	99.3		98.0	98.0
医業収支比率	90.4		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	18.7		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	20.9		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	18.6		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	80.8		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	470,807
1 固定資産	298,448
(1) 有形固定資産	298,296
(2) 無形固定資産	152
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	172,359
(1) 現金及び預金	95,248
(2) 未収金及び未収収益	75,631
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,170
3 繰延資産	-
負債合計	616,407
1 固定負債	129,121
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,099
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	123,022
(7) リース債務	-
2 流動負債	337,150
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,581
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	10,733
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	23,789
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	150,136
(1) 長期前受金	283,471
(2) 長期前受金収益化累計額()	133,335
資本合計	-145,600
1 資本金	53,633
2 剰余金	-199,233
(1) 資本金剰余金	2,914
(2) 利益剰余金	-202,147
負債・資本合計	470,807
不良債務	162,210
実質資金不足額	162,210
資金不足額()	145,600
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	106,100	101,876
資本勘定繰入	2,643	5,444
計	108,743	107,320

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	162,210	33.3
28年度	157,838	34.3
27年度	115,033	25.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	41.5
健全化法上の資金不足額(千円)	162,210
健全化法上の資金不足比率(%)	33.3
地財法上の資金不足額(千円)	162,210
地財法上の資金不足比率(%)	33.3

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	鞍手町
		病院名	地方独立行政法人くらて病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	16,007	
決算規模(千円)	7,147,795	
標準財政規模(千円)	4,482,600	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	98.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,918			
1 経常収益	10,918			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	10,918			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,918			
2 経常費用	10,918			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	59.2
材料費	-	-	24.0	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	-	-	9.2	10.4
経費	-	-	23.2	27.3
(うち委託料)	-	-	11.2	11.8
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	10,918			
(うち支払利息)	10,918	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	96.1
医業収支比率	-		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29 年度)				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	糸田町
				病院名	緑ヶ丘病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,798 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	6	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	54	71.1	68.3	76.2
療養	45	66.1	67.3	69.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	68.8	67.9	73.0
平均在院日数（一般病床のみ）		26.8	27.9	34.4

設立団体の状況		
人口（人）	9,020	
決算規模（千円）	4,818,151	
標準財政規模（千円）	2,733,245	
財政力指数	0.23	
経常収支比率（%）	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	5.9
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	72.8
修正医業収支金額（千円）	591,732

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	769,319			
1 経常収益	769,319			
(1) 医業収益	634,948			
入院収益	412,629			
外来収益	155,465			
診療収入計	568,094			
その他医業収益	66,854			
(うち他会計負担金)	43,216			
(2) 医業外収益	134,371			
(うち国・都道府県補助金)	4,343			
(うち他会計補助・負担金)	121,784			
(うち長期前受金戻入)	5,501			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	814,084			
2 経常費用	814,084			
(1) 医業費用	812,573			
職員給与費	553,058	87.1	55.9	69.4
材料費	89,306	14.1	24.0	17.1
(うち薬品費)	43,693	6.9	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,393	4.0	11.1	5.8
減価償却費	28,117	4.4	9.2	11.6
経費	140,636	22.1	23.2	31.2
(うち委託料)	41,668	6.6	11.2	12.1
研究研修費	1,255			
資産減耗費	201			
(2) 医業外費用	1,511			
(うち支払利息)	744	0.1	1.7	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-44,765			
純損益	-44,765			
累積欠損金	347,184			
経常収支比率	94.5		98.0	98.0
医業収支比率	78.1		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	21.4		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	26.0		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	21.4		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	74.2		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	389,752
1 固定資産	252,653
(1) 有形固定資産	252,070
(2) 無形固定資産	583
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	137,099
(1) 現金及び預金	23,371
(2) 未収金及び未収収益	110,197
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	3,531
3 繰延資産	-
負債合計	433,177
1 固定負債	254,980
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,194
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	225,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	10,786
2 流動負債	94,459
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,367
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	25,000
(5) 引当金	28,506
(6) リース債務	7,660
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	23,395
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	83,738
(1) 長期前受金	236,157
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	152,419
資本合計	-43,425
1 資本金	-
2 剰余金	-43,425
(1) 資本剰余金	303,759
(2) 利益剰余金	-347,184
負債・資本合計	389,752
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	43,425
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	165,000	165,000
資本勘定繰入	3,177	3,177
計	168,177	168,177

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
29年度	-	-
28年度	138,572	23.4
27年度	48,295	6.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	54.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	川崎町
		病院名	町立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	16,789	
決算規模(千円)	10,063,926	
標準財政規模(千円)	4,892,192	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	97.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	56.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,215			
1 経常収益	24,215			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	24,215			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,215			
2 経常費用	24,215			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	69.4
材料費	-	-	24.0	17.1
(うち薬品費)	-	-	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.8
減価償却費	-	-	9.2	11.6
経費	-	-	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.2	12.1
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	24,215			
(うち支払利息)	24,215	-	1.7	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	98.0
医業収支比率	-		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29 年度)				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	公立八女総合病院企業団
				病院名	公立八女総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,147 m ²	指定病院の状況	救臨が地輪		
診療科数	30	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	300	88.8	79.6	75.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	88.8	79.6	75.4
平均在院日数(一般病床のみ)		13.6	12.7	13.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	97.1
修正医業収支金額(千円)	7,993,506

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,749,829			
1 経常収益	8,749,829			
(1) 医業収益	8,056,952			
入院収益	4,752,902			
外来収益	3,127,975			
診療収入計	7,880,877			
その他医業収益	176,075			
(うち他会計負担金)	63,446			
(2) 医業外収益	692,877			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	161,576			
(うち長期前受金戻入)	8,942			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,077,859			
2 経常費用	9,077,859			
(1) 医業費用	8,234,228			
職員給与費	3,846,504	47.7	55.9	56.9
材料費	2,453,416	30.5	24.0	24.2
(うち薬品費)	1,695,786	21.0	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	690,672	8.6	11.1	11.7
減価償却費	561,794	7.0	9.2	9.5
経費	1,350,714	16.8	23.2	21.8
(うち委託料)	755,347	9.4	11.2	10.7
研究研修費	17,967			
資産減耗費	3,833			
(2) 医業外費用	843,631			
(うち支払利息)	103,015	1.3	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-328,030			
純損益	-328,030			
累積欠損金	68,304			
経常収支比率	96.4		98.0	96.3
医業収支比率	97.8		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	2.6		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	2.8		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	2.6		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	93.9		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,196,956
1 固定資産	8,639,311
(1) 有形固定資産	8,636,092
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	3,219
2 流動資産	6,557,645
(1) 現金及び預金	3,278,642
(2) 未収金及び未収収益	1,439,283
(3) 貸倒引当金()	1,145
(4) 貯蔵品	185,659
3 繰延資産	-
負債合計	7,212,703
1 固定負債	4,975,010
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,740,982
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,231,226
(7) リース債務	2,802
2 流動負債	1,952,041
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	633,281
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	147,662
(6) リース債務	3,784
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,096,486
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	285,652
(1) 長期前受金	508,555
(2) 長期前受金収益化累計額()	222,903
資本合計	7,984,253
1 資本金	7,561,190
2 剰余金	428,992
(1) 資本金剰余金	374,887
(2) 利益剰余金	54,105
負債・資本合計	15,196,956
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	345,216	225,022
資本勘定繰入	322,311	356,603
計	667,527	581,625

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	公立八女総合病院企業団
		病院名	みどりの杜病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,418 m ²	指定病院の状況	
診療科数	1	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	30	84.8	84.4	61.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	84.8	84.4	61.2
平均在院日数(一般病床のみ)		45.2	41.4	42.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	99.2
修正医業収支金額(千円)	430,137

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	440,996			
1 経常収益	440,996			
(1) 医業収益	430,137			
入院収益	396,848			
外来収益	25,464			
診療収入計	422,312			
その他医業収益	7,825			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	10,859			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	5,322			
(うち長期前受金戻入)	3,132			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	439,780			
2 経常費用	439,780			
(1) 医業費用	433,541			
職員給与費	315,876	73.4	55.9	79.3
材料費	25,449	5.9	24.0	16.1
(うち薬品費)	10,105	2.3	12.4	10.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	6,997	1.6	11.1	5.0
減価償却費	25,429	5.9	9.2	13.7
経費	65,697	15.3	23.2	42.9
(うち委託料)	24,813	5.8	11.2	16.0
研究研修費	1,090			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,239			
(うち支払利息)	-	-	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	1,216			
純損益	1,216			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.3		98.0	95.6
医業収支比率	99.2		88.4	65.3
他会計繰入金対経常収益比率	1.2		12.4	33.4
他会計繰入金対医業収益比率	1.2		14.5	52.3
他会計繰入金対総収益比率	1.2		12.4	33.6
実質収益対経常費用比率	99.1		85.9	63.7

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,196,956
1 固定資産	8,639,311
(1) 有形固定資産	8,636,092
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	3,219
2 流動資産	6,557,645
(1) 現金及び預金	3,278,642
(2) 未収金及び未収収益	1,439,283
(3) 貸倒引当金()	1,145
(4) 貯蔵品	185,659
3 繰延資産	-
負債合計	7,212,703
1 固定負債	4,975,010
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,740,982
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,231,226
(7) リース債務	2,802
2 流動負債	1,952,041
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	633,281
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	147,662
(6) リース債務	3,784
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,096,486
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	285,652
(1) 長期前受金	508,555
(2) 長期前受金収益化累計額()	222,903
資本合計	7,984,253
1 資本金	7,561,190
2 剰余金	428,992
(1) 資本金剰余金	374,887
(2) 利益剰余金	54,105
負債・資本合計	15,196,956
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	5,701	5,322
資本勘定繰入	-	-
計	5,701	5,322

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。